

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学病院の消化器外科手術における機械出し業務のタスクシフトに関する研究：臨床工学技士による周術期成績の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2022 年 1 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日に昭和医科大学病院消化器一般外科で手術が施行された方
<b>2. 研究目的・方法</b> この研究の目的は、手術中に器械を手渡したり準備したりする役割（機械出し）を、看護師だけでなく臨床工学技士が担当しても安全に手術が行えるかどうかを確かめることです。 最近では手術で使う機械がとても複雑になっており、機械の専門家である臨床工学技士が対応することで、安全でスムーズな手術につながる可能性があります。 臨床工学技士が機械出しを担当したときと、看護師が担当したときで、手術中や手術後の結果に差がないかどうかを調べることを目的としています。
<b>3. 研究期間</b> 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 12 月 31 日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 患者背景（性別、年齢、BMI、診断名、入院日、退院日、入院期間、転帰、既往歴、内服薬）、血液検査所見（血算、生化学、凝固、腫瘍マーカー）、画像所見による評価（エコー、X 線、CT、MRI）、手術時間、出血量、ASA、輸液量、副損傷の有無、開腹手術への移行、ドレーン留置の有無、術後合併症、病理結果、再発の有無、全生存期間、無再発生存期間、手術メンバー（医師、看護師、臨床工学士の有無、人数）
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません
<b>6. 研究組織</b>

研究責任者	昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	氏名 長石将大
研究分担者	昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	氏名 渡邊健
	昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門	氏名 青木武士

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：消化器・一般外科

氏名：長石将大

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8541